



ありまこうげんグループの輝く未来へ

特定医療法人寿栄会
理事長 鈴木 実

特定医療法人寿栄会は、本日創立以来 50 年という大きな節目の日を迎えました。まずは、いつも私たちを支えて頂いている長尾町を中心とした地域の皆様、行政機関や医療関係団体の皆様、関係するすべての方々に深く感謝と御礼を申し上げます。

長い歴史の中で当時の職員は、今の姿を創造されていたでしょうか。今ある法人組織は、けっして一部の人によって創られてきたわけではありません。「縁を紡ぐ」、一人一人の出会いが色々な人との縁を形づくり、多くの方々の関りの中で医療介護福祉サービスを提供させて頂きました。そして、これからの時代を築くのは、今ここにいるすべての方々です。何よりも大切なことは、組織にとってかけがえのない多くの職員の存在があることを決して忘れてはいけません。歴代の多くの功労者と次世代の担い手である全職員への敬意を表し、改めて心から感謝を申し上げます。

近年の事業活動を振り返ると 2015 年に掲げた「将来構想プロジェクト」の始動を機に寿栄会の未来を考えるきっかけとなりました。当時、法人創立 50 周年に向けて、「医療、介護、福祉のまちづくり」として新しい事業展開を明確にしていきました。その後、2016 年より「ありまこうげん未来構想プロジェクト 2020」を立ち上げ、プロジェクトの 3 本柱である産学連携活動、地域交流活動、医療介護福祉のまちづくりでは、長尾町地域の方々をはじめ関西学院大学や神戸大学、兵庫医科大学など多くの諸先生方にご尽力いただきプロジェクト活動が推進されました。「働く環境、学ぶ環境、そして楽しむ環境」を大切にすることを心掛け、学術交流会、海外研修、市民公開講座、精神医学講座の開催からプロのアーティストをお招きしてのジャズフェスティバル、海外から講師を招聘した講演会などたくさんの方の学ぶ機会を創ることに挑戦してきました。

これからの事業活動は、「ありまこうげんグループきらきら構想」へと引き継がれ、各事業体が主体となって次なる目標である病院新 A 棟建設、外来棟移転計画、特養「さくらガーデン」の新規開設を順次整備していきます。これまで培ってきた組織や職種を超えた真の連携は、今では大きな財産となって、多くの方々のお役に立っているものと確信しております。今後も私たちは 100 年続く法人を目指して新たな価値を創造し、新たな展望へと邁進していきます。そして、本日の創立 50 周年記念日を「第 2 の創業期」として位置付け、次世代を担う人材の育成と笑顔あふれる組織風土づくりにグループ全体で取り組む所存です。先人が残した社会資源を枯らすことなく、創業者が大切にしてきた企業理念を継承し、これからの時代を生きる新たな経営理念に基づき「すべての優先は患者さまに」をモットーに、これからも医療介護福祉サービスを通じて、人と社会を大切にしていきます。